

令和 2 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 崇徳会

目 次

1. 施設の概要	1
2. 沿革	1~5
3. ケア報告	6~9
4. 苦情報告	10
5. 安全衛生委員会	11
6. 特別養護老人ホーム	
(1)入所の状況	12
(2)月別入退所者数	13
(3)行事実施状況	14~15
(4)面会状況	16
(5)外出状況	16
7. 在宅支援について	
(1)短期入所生活介護現況	17
(2)短期入所 報告	18
(3)年間通所介護利用状況	18
(4)通所介護現況	19
(5)通所介護報告書	20
(6)通所介護年間行事	21
8. 施設内事故報告	22~23
(1)事故・ヒヤリハット件数報告	23
(2)事故発生場所 時間	23
(3)ヒヤリハット発生場所 時間	23
9. ボランティアの受け入れ状況	24~25
10. 実習の受け入れ	26
11. 学習支援	26
12. 職員研修・施設内研修	27~28
13. 健康管理	
(1)健康管理処置状況	29
(2)通院・入院状況	30
(3)常食給与栄養摂取量	31
(4)行事食実施記録	32
(5)令和1年度反省点(栄養課)	33
14. 居宅介護支援事業所	34
15. 高齢者あんしん相談センター	35~36
16. あんしんセーフティネット事業	37
17. マザーアースサテライト	38

1. 施設の概要

社会福祉法人 崇徳会

(I) 高齢者総合ケアセンター マザーアース

所在地 埼玉県ふじみ野市大井621-1

開 設 平成5年8月1日

事業所(定員) 介護老人福祉施設(56名) 短期入所生活介護(14名)
通所介護(25名)

居宅介護支援事業所 高齢者あんしん相談センター

敷地面積 4,430.53m²

建物面積 RC造2階建て 2,377.77m²

職員数 施設長 1名 副施設長 2名 事務員 5名

相談員 2名 看護師 6名 ケアワーカー 28名

介護支援専門員 3名 保健師 1名

主任介護支援専門員 2名 社会福祉士 1名

管理栄養士 1名 調理員 10名 施設管理 4名

社会貢献支援員 1名 委託医(非常勤)2名 運転手 2名

(II) 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト

所在地 埼玉県ふじみ野市大井730-12

開 設 令和3年3月31日

事業所(定員) 地域密着型特別養護老人ホーム29名 ユニット型

職員数 施設長(本体兼務) 1名 副施設長 1名 事務員(本体兼務)

相談員(本体兼務) 2名 看護師 1名 ケアワーカー 10名

管理栄養士(本体兼務) 1名 栄養士 1名

(III) 業務内容 心身に障害があるなど介護保険に該当する65歳以上の第一号被保険者
及び40歳以上65歳未満の第二号被保険者(心身に障害があり、その原因
となる疾患が特定疾患と認定された者)で、要介護状態と認定された者に
対する必要な介護サービスを行う。

2. 沿革

平成5年7月 社会福祉法人 崇徳会 認可

理事長に 野溝 伊之助 就任

7月 特別養護老人ホーム マザーアース 認可

施設長に 田貝 邦子 就任

8月 マザーアース開設
10月 デイサービス開設
平成 6年 7月 社会福祉協議会特別会員入会
平成 7年 8月 夏祭り開催(近隣住民招待)・家族会の発足
平成 8年 8月 三周年記念夏祭り開催(近隣住民・ボランティア等招待)
平成 9年 4月 在宅介護支援センター開所
9月 施設長 田貝 邦子 退任
10月 施設長 野溝 守 就任
平成10年 8月 開所5周年記念行事
平成11年10月 居宅介護支援事業所開設
平成12年 4月 介護保険事業による通所介護・短期入所生活介護・訪問介護を開始。
併せて施設名称を社会福祉法人崇徳会 高齢者総合ケアセンター
マザーアースと改める。
平成13年 4月 通所介護事業の定員を20名から25名に増員。
10月 申出窓口及び第三者委員の設置
平成14年 8月 開設10周年記念行事
9月 埼玉県共同募金会「共同募金受配要望事業」により
送迎リフト車整備
平成15年 3月 入所制度の改革により入所検討委員会を設置
4月 短期入所生活介護事業の定員を16名から20名に増員
訪問介護事業を廃止する。
平成16年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
5月 郵政省「社会福祉事業」により特殊機械浴槽チェインバス整備
平成17年10月 大井町・上福岡市が合併によりふじみ野市となる
平成18年 4月 介護保険制度の改正により、地域支援事業(介護予防事業)が
制度化される
平成19年 3月 在宅介護支援センター閉所
3月 理事長 野溝 伊之助 退任
4月 理事長 野溝 守 就任
4月 地域包括支援センター開所
平成20年 3月 開設15周年記念行事 「堀田 力氏」講演
共催 大井町社会福祉協議会(大井町社会福祉協議会歳末福祉事業配分事業)
6月 本田技研労働組合研究所支部よりステップワゴン寄贈
平成21年 2月 日本財団「福祉車両助成事業」により送迎リフト車整備
平成22年 2月 介護老人福祉施設事業の定員を50名から56名に増員する

短期入所生活介護事業の定員を20名から14名に変更する

10月 埼玉県 生活保護世帯の学習支援事業スタート

平成23年3月11日 14時46分 東日本大震災の発生

原発事故の被災者受け入れ

12月 第5回埼玉県高齢者福祉研究大会 分科会にて

「終末の方のデイサービス利用について」の研究発表を行う。

平成24年 6月 介護職員等による喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者6名)

平成25年 5月 社会福祉法人として「彩の国あんしんセーフティネット事業」に取り組む

7月 生活保護世帯の就労体験 3名受け入れ

8月30日 「マザーアース 開設20年記念パーティー」開催

平成26年 2月 「介護の魅力PR隊」へ参加

8月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」着工

9月 「彩の国あんしんセーフティネット事業」開始

埼玉県第2ブロック拠点施設となる。

「埼玉県高齢者福祉研究大会」にて

「高齢者施設で定着しない同性介助について」研究発表を行う。

10月 「ふじみ野市介護支援ボランティア制度」開始

ふじみ野市より受け入れ施設として指定される

平成27年 1月 「平成26年度 県費補助金 大規模修繕工事」竣工

赤い羽根 平成26年度事業共同募金交付事業による

ナースコールシステム設置

3月 マザーアース ホームページ 開設

「福祉の心を育む交流事業」ふじみ野市教育委員会にて

各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ学校図書の

購入費を寄付

9月 「埼玉県高齢者福祉研究大会」分科会にて

「介護現場における声掛けについて」研究発表を行う

平成28年 3月 「福祉の心を育む交流事業」にて

各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ

8月 埼玉県多様な働き方実践企業ゴールド認定

10月 喀痰吸引等の実施の体制整備(認定者2名)

11月 公益財団法人埼玉県産業文化センターと日本フィルハーモニー

交響楽団の共催による「日本フィルハーモニー交響楽団弦楽

四重奏コンサート」の開催

12月 赤い羽根 平成28年度事業共同募金交付事業による

- アプローチ舗装工事竣工
- 12月 「関東郵便局長会」よりおせち料理が寄贈される
- 平成29年 2月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて東原小と交流
マザーアースにて演奏会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて大井中と交流
マザーアースにて音楽部による合唱会を開催
- 3月 「福祉の心を育くむ交流事業」にて
各学校(東台小、東原小、大井小、大井中)へ
学校図書の購入費を寄付
- 4月 「日産プリンス埼玉販売㈱」様より社会貢献活動の一環として
車いす1台寄贈される。
- 6月 公益財団法人JKA主催リングリングプロジェクト・オートレース補助事業
による、特殊浴槽(寝位浴槽)を設置
- 9月 「関東ブロック老人福祉施設研究総会」において
「心地よい居場所づくり」の研究発表を行う
- 9月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
見守りケアシステム内蔵、低床3モーターベッド3台購入
- 9月 「福祉の心を育む交流事業」にて、東台小学校と交流
5年生を対象に「福祉」についての説明会を開催
- 11月 「福祉の心を育む交流事業」にて
東台小学校児童とマザーアースにて交流会を開催
- 12月 埼玉県高齢者福祉研究大会にて
「レクリエーションの楽しみ方について」の研究発表
作品展のデイサービス利用者様の作品を出品
- 平成30年 2月 「埼玉県介護ロボット普及促進事業」より補助金を頂き、
介護ロボット「ハル」を2台購入(リース)3月29日納品
- 4月 「介護ロボットを活用した腰部負荷軽減プロジェクト」参加
- 8月 広報誌「マザープレス」第1号発行
- 10月 秋祭り開催
- 11月 「マザーアース開設25周年感謝の集い」開催
- 12月 広報誌「マザープレス」第2号発刊
- 12月 HAL腰タイプ好事例対象審査員特別賞受賞
- 平成31年 1月 埼玉県介護人材採用・育成事業者認定制度
ランク3(三つ星)認証
- 2月 彩の国あんしんセーフティーネット事業

社会福祉法人による就労支援事業開始

- 3月 福祉のこころを育む交流事業として
東原小音楽クラブと交流を行う
- 令和元年 5月 9日 埼玉県「介護職員合同入職式・表彰式」に5名参加
- 5月11日 川越ロータリークラブと新日本フィル交響楽団協賛による
「母の日コンサート～感謝の気持ちを込めて～」開催
- 10月 1日 ふじみ野市内の社会福祉法人とふじみ野市社会福祉協議会で
つくる共同相談窓口「つながる相談窓口」開設
- 10月28日 ふじみ野市より地域密着型老人福祉施設(ユニット型)
開発許可を受ける。
- 11月14日 風の里保育園の園児たちと交流会開催
- 12月26日 新送迎車購入(日産)
- 12月27日 大塚食品株式会社よりビタミン炭酸飲料寄贈される。
- 令和 2年 1月 9日 SAITAMAプロジェクトによりセブンイレブンジャパンより
商品の寄贈を受ける。
- 2月23日 新型コロナウィルスの関係で特養入所者及び短期入所者家族の
面会制限開始。ボランティア受け入れ一時停止。
- 3月31日 「福祉のこころを育む交流事業」として東台小、東原小、
大井小、大井中に学校図書購入費を寄贈する。
- 令和 2年 4月27日 入所者と家族を結ぶオンライン面会を開始する。
- 7月22日 地域密着型特別養護老人ホーム 建設のための「地鎮祭」を行う。
- 10月 8日 埼玉県「多様な働き方を実践する企業」ウーマノミクスより
プラチナ認定を受ける。
- 11月30日 埼玉県高齢福祉職員による
コロナウィルス感染対策の調査を受ける。
NHK他マスコミ11社の取材を受ける。
- 令和 3年 3月25日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト
竣工引渡し、祈願祭を執り行う。
- 3月30日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト 開所式
- 3月31日 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト
開所 1名入所する。

3. ケア報告

【特別養護老人ホーム】

令和2年度は、利用者に個人個人の落ち着ける場所や楽しみと生きがいのある生活と一緒に考え、安全な生活を送っていただけるよう検討した。人材育成では新人職員にはチューターを中心に見守りとアドバイスを行った。また、中堅職員の希望を踏まえてOJTを行った。

- (1) 排泄介助では、ひとりひとりに合った方法を検討し、特におむつ内の蒸れと褥瘡を無くすため排泄用品の検討を行い継続し話し合った。
- (2) 褥瘡予防対策委員会では、月1回会議を開き、リスクが高い、又は褥瘡が出来ている利用者の「状態報告と個別の対応」を話し合い、介護課、看護課、栄養課、相談課で連携を図った。また、現場の職員が周知できるよう回覧の徹底をした。
- (3) OJT（施設内研修）では、介護未経験である職員にも理解してもらえるように、パート職員を含め新入職員を中心に「入浴事故防止」、「生活の場での「事故防止」」、「認知症の方への「接遇マナー」「排泄介助」「口腔ケア」「食事介助」「体交枕の当て方」「服薬介助」を行った。その他にも「感染症予防対策」「高齢者虐待防止」「看取り介護」「誤嚥事故発生防止」「人権擁護」「身体拘束適正化」などのテーマでOJTを実施し、職員の資質向上を図った。
- (4) 口腔ケアでは毎月、歯科医や歯科衛生士から助言と指導を頂くと同時に計画書を作成して実施した。
- (5) 毎月のお茶会は季節に合った和菓子を提供した。その他、フルーツポンチ、アイス、団子、フルーチェ、ホットケーキなどのケーキ類が人気で、季節により具材を変えて提供した。
その他季節を感じていただけるような行事を行った。余暇活動では、アロマオイルを使い上下肢のマッサージや血行の促進効果のある足湯、拘縮や麻痺がある方には可動範囲内でリハビリを兼ねて健やかな時を過ごして頂いた。
- (6) 身体拘束適正化では、介護職員対象の研修を行い、職員の思い、感想・意見など、書面をもって提出してもらった。今後も継続し、全員で身体拘束ゼロに向けて、最大限の努力を行っていくようとする。
- (7) 感染症対策への理解
インフルエンザやノロウィルスなどの感染症は、流行していたが、利用者に感染しなかったことは良かった。また、新型コロナウィルス感染症の流行に伴い、埼玉県による入所型高齢者施設を対象とした緊急巡回では、チェックリストや聞き取り調査に対応した。国のガイドラインに従い、感染症対策に努めていく。今後も健康管理ガイドラインに従い、館内の除菌スプレーの使用、換気による空気内洗浄、基本的な手洗いとうがいなど、各自予防に努めていく。

(8) 介護ロボット「HAL」の導入について

やむなく離職せざるを得ない職員で、大きな部分を占める原因の一つが「腰痛」。当施設では、平成30年4月より委員会を立ち上げ、職員の腰への負担軽減等を図ってきた。月1回の老施協主催のHALプロジェクト事業の定例会への参加及び月1回施設内でのHAL委員会を実施している。職員の装着率を上げ、最終目標として利用者への装着を視野に入れ、運動機能の向上を目標としていく予定である。

(9) 施設内で死亡された方が19名。（看取り介護5名）

御家族が主治医から「今後は看取りの介護になります」との話を聞き、職員と共に看取りのためのケアプランを作成した。

「今日という日を大切に過ごされる」ために日課で予定されない生活を重視した。

徐々に衰えていく利用者に合わせて看護、介護、栄養面で配慮しながら、時間を問わず、頻繁に訪問されるご家族には、相談員を中心に気持ちの整理と心の準備について援助した。泊まってついていてあげたいというご家族の気持ちに寄り添い、ご家族も泊まれるよう同じ部屋にベッドも置いた。

看取り介護が終わり、ケアの振り返りを行うカンファレンスでは、納得の出来る介護が出来たかどうか、今後、より良い看取りを提供していくには、どうすれば良いかを常に考えて向上を図った。

「終のすみか」としての役割を果たせるように、更なる精進をしていく。

【デイサービス】

(1) 生活援助

ご利用者の在宅生活の様子をご家族、ご本人、ケアマネジャーから話を伺い、また連絡帳を通して情報交換を行い、報告・連絡・相談を徹底する事により、安全で快適な生活を提案するよう努めた。

(2) 日常動作訓練（生活リハビリテーション）

高齢者に多い転倒、誤嚥などのリスクを考え、予防の意識を個々に持っていただけるように声かけを行い、体操やレクリエーションを通して身体機能の維持に努めた。

(3) 相談

ご利用者から相談がある時は良く話を伺い、必要に応じてご家族・ケアマネジャーとも連絡を図り、安心した生活を送れるように援助した。

(4) 送迎サービス

ご利用者の身体の状況や介護状況に合わせた送迎を行い、また車酔い等の個々の事情も考え、安全面にも配慮した送迎を行えた。雨天時は特にステップ乗車の際等に、滑らないように注意を払った。

(5) 入浴サービス

ご利用者、ご家族のほとんどの方はデイサービスでの入浴を希望されている。ご家庭での健康状態、家族、ケアマネジャーからの情報を元に健康チェックを行い無理のない入浴を実施するように努めた。入浴中の事故を防ぐため、日頃のヒヤリハットを参考にして職員間の声かけ、ご利用者に対しての見守り・声かけなど安全面に配慮するようにした。又「楽しみとしての入浴」を目標に実施した。

(6) 食事

栄養バランスの他、粥食・荒刻み食・極刻み食・ミキサー食・代替食等、できる限りの要望が満たせるよう栄養士と検討し提供した。ご利用者の声を大切に厨房との連携も図った。朝の会で献立を紹介する事で、想像力をかき立てるようにながら、脳の活性化を促した。

(7) 介護サービス

ご家族との状況交換を密にし、各ご利用者のADLに合った介護を提供した。ご利用者に対して画一的な対応でなく、個別の対応も取り入れた。

(8) 介護予防

運動器の現状維持、口腔機能の向上に関するサービスの提供を行い、要支援、要介護状態の改善や重度化の予防に取り組んだ。また、ご利用ができる限り自立した生活を送れるような支援を心がけた。

(9) 通所介護計画

サービス担当者会議等で、ご利用者の日常生活の状況や希望を確認し、日頃のデイでの様子も考え、居宅サービス計画に沿っての通所介護計画を作成した。半年ごとの見直しを行い御家族、ケアマネジャーに計画内容を理解して頂いた。

(10) 趣味活動

各ご利用者のADL、興味に合ったプログラムを準備し、御利用者の楽しみになるよう提供した。主に紙工作、縫物、編物、色塗り、壁画の共同制作など手指のリハビリにつながるよう御利用者に参加して頂いた。楽しみにつながり、心身の活性になる内容を提供するように努めた。音楽療法、ハンドケア・ネイルアートを定期的に行った。

(11) 行事

四季折々の行事を企画して、季節の移り変わりを感じて頂き、心身の活性へとつなげていった。又「デイサービスを利用して楽しかった」と少しでも感じていただけるようにサービスを提供した。

(12) 職員教育

定期的な研修、意見交換の場（帰りのミーティング）を計画し、日々の業務、利用者へのサービス提供に共通意識をもって取り組んでいけるようにした。今行なっていることが最高とは思わず、いつでも上を目指しながらサービスに勤しむように心掛けた。

【ショートステイ】

(1) 緊急時

ふじみ野市との契約で、緊急受け入れを行なっている。
令和2年度の緊急受入はありませんでした。

(2) 利用状況

定員14名の中で、定期的にロングショートステイの方を確保しました。
その他定期利用の方が7名、不定期利用希望の方は、その都度対応しました。

(3) 新型コロナウィルス感染防止対策

定期的に利用されている方には、ご家族、ケアマネジャーと相談し、IN・OUTを少なくする事で、外部との接触を極力少なくできるように、ご家族にもご協力いただきました。新規利用者、ロングショート入所時、医療機関から来られる方についてはPCR検査に協力して頂き、陰性を確認してから入所して頂きました。

4. 苦情報告

第三者委員の連絡先は、當時廊下の掲示板に貼り出している。第三者委員への連絡を入れる事はなかった。第三者委員に対して苦情の報告会を行い、ひとつひとつ説明し意見を頂いた。

第三者委員の方からは、「現在、新型コロナウィルス感染症の影響で、ご家族やボランティアの方が施設へ入れない事で『人が見ていないから・・・』と、介護が手抜きにならないように。ここまで築き上げた介護を守り続けられるようにお願いしたい。特に身だしなみについては、常に基本に戻って対応して欲しい」と助言を頂いた。

些細な苦情も書類に残し、改善を図ることでサービスの向上を図った。

苦情の内容は、レクリエーションの実施方法、私物の管理方法、運転マナーが十分に

平素事故防止のためヒヤリハット委員会を中心に事故の原因やその背景を検討し、対策を考えているが、生活の場としての「身体拘束に依らない介護」には、リスクが常に伴っている。怪我をさせない責任を果たそうとすると、ご本人の自由を制限する方向にいくってしまう。かといって、マンツーマンでは見ていられない現実がある。

今まで通り事故を回避する対策は取るもの、防ぎきれない事故もありうるということを、施設とご家族の問題だけでなく、広く社会の方々にも理解して頂きたい。

「専門職（プロ）だろう」と言われ、怪我をさせないのが当たり前のような考えは、荷が重い。私たちは、どんな障害や問題がある方でもその方にとって、一番良い対応を考えようとして専門性を感じている。

「いかに事故を起こさないようにするか」も当然大事だが、それ以前に職員間の情報共有やマザーアースの職員である事をひとりひとりが自覚し 対応に当たるようにならなければならないと感じた。当施設のような「生と死」が隣り合わせの環境の場合、ご家族が感情的になるケースがある事に鑑みて、思いを受け止めていけるようにしていかなければならない。

第三者委員の方々には、苦情対応の難しさや当施設での真摯な対応を理解していただき、今後の改善についてはより一層努力するように助言をいただいた。

5. 安全衛生委員会

- ①安全面・衛生面に問題がないか施設内の定期巡回・点検を行った。
- ②産業医による環境のチェックを行った。
- ③職員の心の健康について
 - ・職員の精神的な問題について相談・受診などのサポートを行った。
- ④感染症対策について
 - ・手洗いうがいの徹底、個々の健康管理に関する呼びかけ・ポスター掲示を行った。
 - ・利用者のご家族にも、面会（オンライン面会含む）の際、検温、手洗い、うがいの呼びかけを行い、館内に病原体を持ち込まないようにした。
 - ・インフルエンザの流行時期及び新型コロナウィルスの流行に伴い、来訪者の体温測定を行い、感染防止に努めた。
 - ・新型コロナウィルスの世界的まん延に伴い、利用者・職員・施設内環境における感染予防対策の周知、体調不良者の経過確認、記録を行った。
- ⑤健康診断を基にD・E判定の職員へ受診等を促した。

6. 特別養護老人ホーム

(1) 入所の状況

①保険者別(R3.3.31現在)

保険者	男	女	計
ふじみ野市	5	35	40
富士見市	1	1	2
三芳町	2	3	5
川越市	3	3	6
世田谷区	0	1	1
練馬区	1	0	1

②年齢構成(R3.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
65歳未満	0	1	1	1.8%
65~69歳	0	0	0	0%
70~79歳	4	5	9	16.1%
80~89歳	5	18	23	41%
90~99歳	4	18	22	39.3%
100歳以上	0	1	1	1.8%

③平均年齢(R3.3.31現在)

(才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	93	73	84
女性	100	60	88

男女平均 (87)

④平均介護度の推移(R2.4.1~R3.3.31)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.98	4.00	4.05	4.05	3.5	4.10	4.1	4.12	4.12	3.96	4.1	4.03

⑤要介護度入所者構成(R3.3.31現在) 平均介護度 4.0

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
0	0	13	29	15	57

(2)月別入退所者数

	前月末人員	本月入所者	本月退所者	本月末人員	
4月	57	1	2	56	入所者
5月	56	1	1	56	男性 7名
6月	56	0	0	56	女性 15名
7月	56	3	3	56	
8月	56	1	1	56	退所者
9月	56	1	1	56	男性 11名
10月	56	1	2	55	女性 12名
11月	55	3	2	56	
12月	56	1	3	54	* 退所理由
1月	54	6	4	56	施設内死去→13名
2月	56	1	1	56	病院内死去→4名
3月	56	3	4	55	入院継続→0名
合計	670	22	24	668	他施設移転→0名

令和2年度は、入所者 男性7名 女性15名 計22名でした

退所者は、男性11名 女性12名 計23名でした。

退所の理由については、施設内で死去された方18名、その内ご家族や嘱託医の協力を得て、

安らかなターミナルを迎えた方たちが5名いらっしゃいました。

その他、入院中死去4名。入院継続や他施設移転、在宅復帰での対処の方はいませんでした。

(3) 行事実施状況

①年間行事実施状況

月	日	行 事 名
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月	20	敬老会
10月	3	利用者健康診断
	17	秋まつり
11月		
12月		
1月		
2月		
3月	22	移動カフェ
	23	移動カフェ

※「福祉の心を育む事業」では、近隣の小中学校を対象として交流を行い、施設は学校図書を寄付する流れを社会福祉協議会と一緒に協力しながら、世代間交流を深めていますが、令和2年度は新型コロナウィルス感染症の感染防止のため交流ができませんでした。

② 週間のケア

	AM				PM		
	特 A	特 B	ショート	入浴	特 A	特 B	ショート
月	※	※	遊ビリ 脳トレ・色ぬり	Aグループ	口腔アセスメント 将棋ボラ	包布交換	※
火	美容	美容	美容 車椅子清掃	Bグループ	居室水モップ	口腔アセスメント 居室水モップ	※
水	ちぎり絵	※	ちぎり絵	Cグループ	ミーティング	ミーティング	※
木	※	※	※	Aグループ	将棋ボラ トイレ清掃	トイレ清掃	ミーティング
金	習字教室	※	習字教室	Bグループ	回診 居室水モップ	回診 居室水モップ 遊ビリ	回診
土	浴室清掃	※	浴室清掃	Cグループ	環境整備	環境整備	環境整備
日	環境整備	環境整備	環境整備	希望者	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	足浴 ケアプラン記録 車椅子清掃	ケアプラン記録 カラオケ喫茶 シアター 車椅子空気入れ

※ 毎日の業務

- ・入浴 利用者あたり 週二日 実施
- ・シーツ交換 利用者あたり 週一日 実施
- ・水分補給 毎日、午前、午後に実施
- ・部分清拭、眼脂清拭 2階フロア毎日実施
- ・口腔ケア 毎日実施 アセスメント週一回
- ・髭剃り、整容 火曜、金曜、日曜
- ・食堂清掃
- ・コミュニケーション

ショートステイ業務

- ショート利用者の入退所業務
送迎、荷物整理、ベッドメイキングなど

③月間・年間実施表

月 間 実 施 表

- | | |
|---|--|
| ・体重測定・懇話会・精神科・コーヒータイム
・ナースコールチェック・お茶会
・レクリエーションボランティア | ・職員会議・リーダー会議・各部署会議
・特養会議・給食会議
・ホーム内研修・検便
・身体的拘束適正化委員会
・褥瘡予防対策委員会
・感染症予防対策委員会(1・4・7・10月実施)
・ヒヤリハット委員会 |
|---|--|

年 間 実 施 表

利 用 者 健 康 診 断
職 員 健 康 診 断
外 部 研 修(OFF-JT)
施 設 内 研 修(OJT)

(4) 面会者状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数				1				1	23	19	13	16
年間合計					73人			(オンライン面会含む)				
月平均					6人							

(5) 外出状況

令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度は、新型コロナウィルス感染予防のため、施設行事としての外出は実施しませんでした。外出については、受診など必要不可欠と判断したときのみ実施いたしました。その為、マザーアースの南庭でカフェの開催や気候が良い日に散歩をおこない、外気に触れる機会を設けました。

7. 在宅支援について

(1) 短期入所生活介護現況(R3.3.31現在)

①保険者別(R3.3.31現在)

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	10	20	30
富士見市	1	0	1
川越市	2	1	3
越生町	1	0	1
合計	14	21	35

②年齢構成(R3.3.31現在)

区分	男	女	計	割合
40～70歳未満	1	0	1	2.9%
70～80歳未満	3	3	6	17.2%
80～90歳未満	8	11	19	54.2%
90～100歳未満	2	6	8	22.8%
100歳以上	0	1	1	2.9%
合計	14	21	35	100%

③平均年齢(R3.3.31現在) (才)

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	93	69	83
女性	100	73	87

男女平均 (86)

④平均介護度の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平均介護度	3.2	3.4	3.5	3.3	3.2	3.0	2.6	2.8	3.1	2.7	2.8	3.0

⑤要介護度別構成(R3.3.31現在)

要介護1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
4	7	13	12	3	39

(2)令和2年度 短期入所 報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	15	11	12	16	13	15	15	11	11	12	11	12	154
延べ人数	259	270	257	305	264	265	257	210	241	259	242	261	3,090
平均利用日数	17.2	24.5	21.4	19.0	20.3	17.6	17.1	19.0	21.9	21.5	22.0	21.7	20.0

(月平均 実人員 20.0 月平均 257.5)

(3)年間通所介護利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人員	33	32	34	34	34	35	35	34	34	33	30	30	398
延べ人数	367	362	401	403	380	390	391	371	366	338	333	396	4,498
介護予防 実人員	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	2	1	31
介護予防 延べ人数	12	9	7	15	12	16	13	12	17	19	16	16	164
1日平均(日中)	16.7	17.2	18.2	17.5	18.1	17.7	17.8	17.7	17.4	16.9	16.7	17.2	17.4

(4) 通所介護現況(R3.3.31現在)

①保険者別

保険者	男	女	合計
ふじみ野市	6	30	36
富士見市	0	1	1
三芳町	1	0	1
徳島市	0	1	1
合計	7	32	39

②年齢構成

区分	男	女	計	割合
40~70歳未満	0	0	0	0%
70~80歳未満	3	3	6	15.4%
80~90歳未満	3	12	15	38.4%
90~100歳未満	1	17	18	46.2%
100歳以上	0	0	0	0
合計	7	32	39	100%

③平均年齢

	最高年齢	最低年齢	平均
男性	90	71	81
女性	97	73	88

全体 87歳

④要介護度別構成

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
1	2	15	10	9	7	3	47

(5) 通所介護報告書(R2.4月～R3.3月)

①利用延べ人数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延べ人数	367	362	401	403	380	380	391	371	366	338	333	396
利用日数	22	21	22	23	21	22	22	21	21	20	20	23
平均利用者数	16.7	17.2	18.2	17.5	18.1	17.7	17.8	17.7	17.4	16.9	16.7	17.2

②介護度別利用者実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
要支援 2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
要介護 1	12	13	13	12	11	11	12	12	12	12	12	12
要介護 2	8	7	8	8	9	9	8	8	8	8	8	7
要介護 3	7	4	5	5	4	4	6	5	5	4	4	4
要介護 4	3	4	3	3	4	4	3	3	4	4	3	5
要介護 5	1	2	2	3	3	3	3	3	2	2	1	1
合計	33	32	34	34	34	34	35	34	34	33	30	30

③新規利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
マザー	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
おおい	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
他	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3

※マザーは「マザー居宅」、おおい「包括おおい」、他は「他事業所」

④退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
老健	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	3
他施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マザー	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	4
他界	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	3
他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※他施設⇒他のデイ・デイケア・ショート等 マザー⇒ショート・入所 他⇒転居など

※他の施設にいかれた理由⇒リハビリがしたい(他のデイケア)・その他施設に入所したい(グループホームのデイ)

マザーの回数が増やせない(他のデイ)・送迎が難しくなった(他のロングショート)

⑤平均介護度…2.4

⑦一日平均…17.4人 月平均…374人

(昨年度 一日平均19.8人 月平均 425人)

(6) 通所介護年間行事

4月	おやつ作り（イチゴういろう 4／13）
5月	母の日行事（5／8）
	端午の節句行事・おやつ作り（こいのぼりワッフル5／25）
6月	父の日行事（6／15）
	おやつ作り（桜とよもぎ団子6／4）
7月	七夕行事（7／7）
	おやつ作り（ギモーヴ 7／15）
8月	夏祭り（8／18・19）
	おやつ作り（牛乳寒天8／24）
9月	敬老会（9／21）
10月	運動会（10／22・23）
	おやつ作り（わらびもち10／6）
11月	おやつ作り（かぼちゃようかん11／13）
12月	クリスマス会（12／24・25）
	おやつ作り（ケーキバイキング12／9）
1月	おやつ作り（白玉ぜんざい1／21）
2月	節分行事（2／3）
	おやつ作り（じやがいももちのみたらし団子2／10）
3月	雛祭り行事（3／3）
	おやつ作り（クレープ3／17）

- ・行事の様子がご家族にわかるよう、写真を撮り配布した。
- ・行事やおやつ作りは、季節感を味わえるよう意識しながら取り組んだ。
- ・誕生日会のプレゼントは、職員手作りの物を全員にお渡しした。
- ・来年度も利用者様に楽しんで頂き、笑顔が溢れるようなデイサービスを目指し、新たなレクや体操を増やしていきたい。
- ・音楽療法、ハンドケア・ネイルアートにも力を入れていきたい。
- ・自立支援の一環として、下膳等を利用者様が出来るようにしていく。

8. 施設内事故報告

令和1年度	→	令和2年度
・ヒヤリはっと 30件	→	46件
・事故 98件	→	114件

※委員会会議は月に2回、14時30分から開催

※月末の最終月曜日に当月の事故・ヒヤリはっとの報告と対応策の検討

※2週間後の月曜日にフィードバックとして、検討した対応策の実施結果報告と再検討を行う。

令和2年度の集計

事故 : 114件	骨折（疑い含む） 2件
	頭部外傷 1件
ヒヤリはっと : 46件	

※今後の課題

- 会議の参加
- ・担当委員が会議に出席できるよう配慮する。
 - ・委員が報告書を確認し、会議に臨むような体制づくりが必要。

- 記録
- ・報告書の記入はできているので、状況がわかるような内容で簡潔化を目指す。
 - ・ケアカルテを活用していくよう、検討を重ねる。

- 危機管理
- ・事故やヒヤリはっとが起きてしまったときは、出来るだけ早いうちに当部署で状況を把握し、対応策を検討する。
 - ・当部署以外にも書面（3部署）や報告にて情報を共有する。
 - ・委員会会議において討議された内容を回覧して、職員ひとりひとりが危機の意識を高める。
 - ・利用者の状態によっては、施設全体で取り組むこともあり日頃より連携を図り、協力できる体制をとっていく。

(1) 令和2年度事故・ヒヤリハット件数報告

(件)

	ヒヤリハット	事 故		ヒヤリハット	事 故
4月	1	7	10月	4	16
5月	6	4	11月	2	7
6月	3	6	12月	6	12
7月	3	4	1月	4	14
8月	1	3	2月	6	12
9月	2	14	3月	8	15

(2) 事故発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関			1			1
デイルーム					4	4
中庭						0
南庭						0
お風呂				5	1	6
ベランダ						0
1階	居室	8	5	3	3	19
	廊下	10	4	1	7	22
	談話室			1		1
	トイレ	1	4	3	5	13
	食堂				4	4
2階	居室	6	6	3	3	18
	廊下	3	6		4	13
	トイレ				1	1
	食堂		4	3	5	12
	その他					0
計		28	30	19	37	114

(3)ヒヤリハット発生場所 時間

		17:31～0:00 準夜勤	0:01～9:00 深夜勤	9:01～12:00 午前中	12:01～17:30 午後	計
玄関			1		1	2
中庭				1		1
南庭						0
お風呂				3		3
ベランダ		1				1
1階	居室		3		2	5
	廊下(談話室)	1	2	3	3	9
	トイレ					0
	食堂					0
2階	居室	4	3		2	9
	廊下		2		3	5
	トイレ				1	1
	食堂	3	2			5
	その他	1		1		2
デイルーム					1	1
その他					2	2
計		10	13	8	15	46

9. ボランティア受け入れ状況

令和2年度はコロナウィルス感染予防のため、ほとんどのボランティアの受入を断念致しました。

ボランティア活動状況

ちぎり絵ボランティア	毎週水曜日	見合わせ中
地域ボランティア	毎週木曜日	見合わせ中
習字ボランティア	隔週金曜日	見合わせ中
3B体操	第一月曜日 第四火曜日	見合わせ中
美容ボランティア	毎週金曜日 (緊急事態宣言時は中止していました。)	1名
介護相談員	月2回	見合わせ中
クラリネット演奏	月1回	見合わせ中
傾聴ボランティア	月2~3回	見合わせ中
生け花	月2回 (利用者の参加はありませんでした。)	1名
将棋ボランティア	毎週月・木曜日	見合わせ中
音楽ボランティア	第2木曜日	見合わせ中
津軽じょんがらボランティア	第1火曜日	見合わせ中
レクリエーションボランティア	第3火曜日 (職員が自分の休日にボランティアにて実施。)	1名

- 学校関係・地域への協力・・・東原小学校・東台小学校
大井小学校・大井中学校・三芳中学校
三芳東中学校

小中学校に対する福祉のこころを育む交流事業は、生徒と利用者の交流はできませんでしたが、学校図書寄贈は実施いたしました。

※傾聴ボランティア（むすび）とは・・・

利用者の方の傾聴を必要とする人のお話を耳を傾け、その気持ちに寄り添うことで心や身体の健康を増進。利用者が安心して過ごせるよう、活動して頂いている。

※介護相談員とは・・・

市町村が「事業の実施にふさわしい人格と熱意をもっていると認めた人で、一定水準以上の養成研修を受けた人」と定められている。

介護相談員は、まず利用者から苦情や不満等をよく聞いたのち、本人への助言や法人側と意見交換を重ねて問題のありかを提示し、サービスの質の改善につながる提案をします。また、行政機関の関与が必要な場合は

市町村の事務局を通じて適切な対応策をとります。介護相談員は、サービス利用者・サービス提供者・行政機関の橋渡し役です。

10. 実習の受け入れ

新型コロナウィルスの関係で、実習依頼はありませんでした。

11. 生活保護世帯の子供への教育支援

月・水曜日の 18:00～20:00 を学習時間として、中学生（主に生活保護家庭）の教育支援の場として 1 階の食堂を提供した。支援員、ボランティアの参加も含め一日 15 人程の出席があった。それぞれに希望の進学先に進むことが出来た。
学習の他、クリスマスや年度末の集まりにはお菓子等の差し入れを行い喜んでいた
だいた。相互の信頼関係が構築できた

12. 職員研修

(1) 外部研修 (職員の資質向上を図るため、施設外の研修に参加した)

8月	7日 あんしんセーフティネット事業第1回ブロック会議・研修 18日 あんしんセーフティネット事業 就労支援事業所連絡会議	1名 1名
9月	1日 21世紀委員会研修会 (1、29) 14日 主任介護支援専門員レベルアップ研修 16日 管理者キャリアパス研修 (16、24)	5名 1名 1名
10月	2日 介護福祉士実習指導者講習会 (2、3、11/27、28) 9日 チームリーダーキャリアパス研修 (9、16) 14日 介護事業経営者セミナー	1名 1名 1名
11月	2日 接遇研修 9日 「話し方・折衝・交渉力向上」研修	1名 1名
12月	3日 認知症ケア向上研修 8日 ユニットケア施設管理者研修 (8、9、2/18、19) 17日 介護予防情報交換会 (17、24)	2名 2名 1名
1月	12日 ユニットリーダー研修 (12、13、19、20、2/16、17、3/4、5) 13日 経営戦略セミナー 21日 介護予防全体研修会 25日 ハラスメント対策研修 26日 社会福祉援助技術ステップアップ研修 (26、2/2) 28日 介護ロボット活用オンラインセミナー	4名 1名 2名 1名 1名 1名
2月	1日 新人介護職員研修Ⅱ) (1、8) 1日 虐待防止研修 1日 第1回施設長会議 3日 第2回「医療と介護連携の会」多職種研修会 4日 スーパーバイザー養成研修 (4、5、12、18、19) 10日 福祉現場で必要な法律の基礎知識研修 10日 事例から学ぶコロナ対策 22日 新人育成担当者研修 (22、25) 26日 人事管理者研修	1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名 1名
3月	9日 労務管理者研修 (9、17) 10日 埼玉県老施協オンライン研修会 15日 認知症ケア研修 入門編 16日 二市一町高齢者虐待防止ネットワーク会議研修会 18日 メンタルヘルス研修 20日 埼玉県介護支援専門員協会 オンライン研修会 26日 令和3年度介護報酬改定 徹底攻略セミナー	1名 7名 3名 3名 1名 2名 1名

(2) 施設内研修(OJT)

- 4月 29日 身体拘束の廃止の為に I
29日 入浴事故防止の為に I 浴室にて
- 5月
27日 前年度のヒヤリハット・事故報告書のまとめ(振り返り)
27日 誤薬を防ぐには I
- 6月 10日 高齢者虐待防止のために
17日 高齢者虐待防止のために
18日 高齢者虐待防止のために
24日 感染症対策について I 食中毒予防
24日 感染症対策について I 麻疹とは
- 7月 29日 看取り介護について I
- 8月 26日 褥瘡予防について I
- 9月 30日 口腔ケアに関する研修
- 10月 14日 入浴事故防止の為に I 浴室にて
30日 感染症対策について II 栄養課
- 11月 25日 事故発生防止のために II
25日 身体拘束の廃止のために II
25日 服薬誤薬事故発生の防止について II
- 12月 23日 褥瘡予防について II
- 1月 27日 看取り介護について(振り返り)
- 2月 14日 人権擁護について
- 3月 24日 苦情について 令和2年度のまとめ

13.健康管理

(1)健康管理処置状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	備考
検温	804	833	845	815	834	752	728	726	1,794	1,688	1,551	1,692	13,062	R2.12月～全員検温
血圧測定	510	487	523	538	510	510	542	523	535	450	460	518	6,106	
体重測定	57	56	56	56	56	56	56	54	55	54	55	55	666	
心臓貼布剤	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
湿布貼布	0	10	19	3	8	7	9	9	12	15	12	8	112	
常時投薬	1,597	1,643	1,591	1,614	1,662	1,620	1,585	1,532	1,614	1,572	1,451	1,590	19,071	
臨時投薬	264	227	258	238	242	245	241	210	252	254	202	232	2,865	
軟膏塗布	270	287	274	272	281	284	294	303	345	306	407	298	3,621	
レシカル	6	1	1	1	0	0	2	3	1	1	4	1	21	
浣腸	8	1	3	7	4	5	0	2	5	3	0	3	41	
摘便	6	8	7	6	6	9	9	6	10	7	4	1	79	
点眼薬	273	226	210	235	310	273	276	223	217	217	186	198	2,844	
外科的処置	105	97	78	78	56	117	76	59	97	84	74	50	971	
点滴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
酸素吸入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
吸引	0	0	1	2	0	0	4	2	4	0	3	0	16	
注射	30	31	30	31	31	30	31	56	0	11	1	0	282	
針・灸・マッサージ	16	19	27	24	21	24	26	14	9	20	13	9	222	
臨時処方箋あり	21	7	22	45	22	7	23	0	26	15	29	7	224	
ショートステイ	247	254	237	279	239	237	230	169	191	195	202	233	2,713	
入院	24	31	30	35	0	0	18	30	13	21	9	14	225	

(2) 通院・入院状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器外科	(男)												
	(女)												
耳鼻科	(男)												
	(女)												
外 科	(男)												
	(女)												
内 科	(男)				2				1	1		1	1
	(女)			1						1			
泌尿器科	(男)	3	3	3	3	3	3	4	2	2	2	3	2
	(女)												
整 形	(男)	1			1	1							
	(女)	3											1
皮膚科	(男)												
	(女)												1
歯 科	(男)												
	(女)												
脳外科	(男)												
	(女)			2									
眼 科	(男)												
	(女)												
精神科	(男)												
	(女)				1			1					1
入 院	(男)	1	1	1	2			1	1			1	1
	(女)	1											
月末現在													

(3) 令和2年度 常食給与栄養摂取量

	エネルギー (Kcal)	蛋白質 (g)	脂肪 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミンA (μgRE)	ビタミンB1 (mg)	ビタミンB2 (mg)	ビタミンC (mg)
マザーアース における 1人1日当りの 栄養必要量	1327	56	37	600	10	600	1.1	1.1	100
4月	1543	67	38	587	10.3	977	2.23	1.11	123
5月	1537	66	37	578	10.3	1010	2.23	1.11	126
6月	1540	66	37	580	10.1	1008	2.22	1.11	125
7月	1541	66	37	581	10.1	1004	2.22	1.12	124
8月	1539	66	37	584	10.2	1008	2.22	1.11	125
9月	1535	66	37	584	10.1	1012	1.72	1.09	125
10月	1538	66	37	600	12.2	1020	1.92	1.13	125
11月	1515	65	38	581	10.0	1007	2.22	1.11	124
12月	1538	66	37	578	10.2	1004	2.23	1.11	125
1月	1532	65	38	570	11.9	1006	1.92	1.09	123
2月	1538	66	37	576	12.1	996	1.93	1.14	124
3月	1542	67	37	585	12.4	1003	1.93	1.12	126
年間平均	1537	66	37	582	10.8	1005	2.08	1.95	125

マザーアース 栄養課

(4) 令和2度 行事食 実施記録

月 日	行事名	
5月5日	端午の節句	・赤飯・天麩羅(えび、カボチャ、タラの芽) ・ブロッコリーゼリー寄せ ・ヨーグルトソースかけ ・清汁(花麩、三つ葉) ・手作り牛乳フルーツ寒天
7月7日	七夕	・七夕そうめん ・天婦羅(キス、しし唐、しめじ) ・冬瓜のそぼろあんかけ ・果物(メロン)・七夕羊羹
7月21日	土用の丑	・うなぎごはん ・冬瓜のカニ風味あんかけ ・清汁(花麩、みつば) ・果物(スイカ)
9月16日	敬老の日	・赤飯栗添え ・お口取り(サーモン、宝玉寄せ、紫花豆) ・天婦羅 ・煮物盛り合わせ ・清汁(生紅葉麩、三つ葉) ・果物(メロン、巨峰)・おやつ(練り切り)
10月1日	十五夜	・鮭の月見蒸し ・きのこと白菜の炒め煮 ・みそ汁(南瓜、玉ねぎ) ・果物(マンゴー) ・月見まんじゅう
11月3日	文化の日	・菊花寿司 ・れんこんの揚げおろし煮 ・春菊のごま和え ・清汁(まりふ、三つ葉) ・果物(柿) ・紅茶ケーキ
12月21日	冬至	・赤飯 ・さけの柚香漬け ・南瓜のいとこ煮 ・みそ汁(もやし、油揚げ) ・マンゴー
12月25日	クリスマス	・人参ピラフ ・ビーフシチュー ・キャベツのドレッシングかけ ・トマトスープ ・フルーツヨーグルト和え ・おやつ(ショートケーキ)・ミキサー食はプリン
1月1日	お正月	・おせち料理(一の重:金目鯛の西京漬け・数の子・栗きんとん・伊達巻・黒花豆・酢とり生姜) (二の重:煮しめ・紅白なます) ・赤飯 ・清汁(寿かまぼこ、三つ葉、柚子) ・果物(苺/ミルクかけ)・甘酒
1月2日	お正月	・稲荷ごはん・松風焼き・みそ汁(卵、玉ねぎ) ・ほうれん草のたらこ和え ・甘夏缶 ・おやつ(甘酒)・カルビス
1月7日	七草粥	・七草かゆ(小松菜・大根・人参・椎茸・鶏肉・卵)・うずら豆佃煮・白菜の甘酢和え
1月11日	鏡開き	・おやつにお汁粉
2月3日	節分	・豆ご飯 ・かじきのみそ漬け ・春菊の中華風和え ・いわしのつみれ汁 ・果物(苺) ・おやつ (甘納豆)
3月3日	雛祭り	・五目寿司 ・ミートローフの照り煮 ・菜の花の辛子和え ・清汁(まりふ、三つ葉) ・果物(苺) ・おやつ 道明寺桜もち、甘酒

(5) 令和2年度反省点 栄養課

○利用者の身体・精神状態、食習慣に考慮した食事の提供

- ・嗜好調査を実施し、利用者の嗜好の把握に努めたが、前年程多くの新メニューを取り入れることができなかつた。
- ・栄養管理会議の議事録を栄養課職員全体で把握し、食事変更の経緯を知り誤配膳を起こさないように努めた。

○他部署との連携

- ・月一回栄養管理会議を開催し、利用者に合った食事を提供できるよう他部署と意見交換を行つた。
また、給食管理会議も同時に行うことで、行事食・選択食の説明や、新メニューに関しての利用者の反応、より良い食事の提供方法などを話し合う機会とすることができた。

○職員の質の向上

- ・給食管理日誌と検食簿に書かれている内容を確認し、栄養課会議の議題に上げることで問題点と解決策の共有ができた。
- ・厨房内の誰が行うか明確でない仕事を割り出し、当番で割り振ることで全員が同じ作業が出来るよう努めた。
- ・当番ごとの作業工程表を作り、何時までに何を行うかを明確にすることで、調理員全員の作業のスピードアップを目指した。
- ・連絡ノートを作り、読んだらサインすることで、小さな出来事でも全員で共有できるように努めた。

○調理技術の向上

- ・行事食や頻度の低いメニューに関して説明書を作り、次の作業がスムーズに行えるよう務めた。
- ・職員同士でよくできたものを参考にし、共有することができた。

○衛生・安全面

- ・消毒・殺菌の徹底し、利用者に食中毒・感染した方が出ることなく衛生管理ができた。
- ・爪ブラシ・アルコール消毒・うがいの習慣づけができた。
- ・調理器具・食材の扱いに注意を払い異物混入を防いだ。

○栄養ケアマネジメント

- ・サテライトの準備もあり、ミールラウンドの時間を増やすことが出来なかつた。
サテライトの栄養マネジメントが29名分加わる為、パートの管理栄養士と2人体制で行っていく。
事務作業の大半を占める献立作成・栄養計算・発注に費やす時間を短縮するため、ソフトの購入を検討したい。

○サテライト

- ・開所に向けて、器具備品のリストアップから、購入、機器類の使用方法の確認、教育等を行つた。
- ・食材の運搬等栄養課のサテライトに関する工程や仕組みづくり、必要書類の作成等を行つた。

14.居宅介護支援事業所

(1)ケアプラン関係

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
新規受付	1	3	4	4	2	3	4	5	0	0	6	2	34	3
実施件数	99	97	98	99	100	102	100	99	92	90	94	91	1161	97

※小数点以下四捨五入

(2)サービス利用状況(実人数)

通所介護	53	50	55	55	53	55	56	59	55	54	53	52	650	54
訪問介護	17	16	18	18	18	16	15	17	14	14	14	11	188	16
短期入所生活介護	10	13	12	16	16	13	13	12	11	13	12	12	153	13
短期入所療養介護	1	1	1	2	3	4	5	3	2	2	1	0	25	2
福祉用具貸与	53	52	55	57	56	57	55	55	52	51	52	51	646	54
訪問看護	13	14	14	14	13	16	18	18	20	18	18	18	194	16
通所リハビリ	18	17	19	21	22	22	22	22	18	17	17	15	230	19.2
訪問リハビリ	1	0	1	2	2	2	3	4	4	2	2	2	25	2
訪問入浴	5	4	5	5	6	6	5	5	4	5	5	5	60	5
地域密着通所介護	9	9	9	9	10	12	11	11	12	10	10	11	123	10
複合型サービス									1					
計	180	176	189	199	199	203	203	206	193	186	184	177	2294	191
利用事業所数	49	47	52	50	52	53	57	58	56	52	54	49	629	52

※小数点以下四捨五入

(3)申請代行

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護保険 (区変・更新)	4	1	3	1	1	4	2	1	4	3	7	4	35
住宅改修	1	0	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	6
福祉用具購入	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4
計	5	1	3	2	3	5	4	2	4	4	7	5	45

・令和2年度後半、職員が急に退職という形になり、改めて自分たちの仕事のやり方について

考えさせられました。自分が不在でも、利用者さんのことがわかるよう、しっかり記録に残すことの大切さを感じました。

マザーアースの居宅は日頃より自分のケースについて、他のケアマネに相談、報告するようには
新体制となり、やっと少し落ち着いてきました。これからは、また新規のケースを開拓し、月95件前後
対応できるようにしていきたいと思っています。

新型コロナウィルスの影響で思うように調整が出来ないこともあります、「利用者さんにとって、今、
何が必要か」を考えながら、日々対応していきたいと思います。

15.地域包括支援センターおおい

(包括的支援事業実施業務実績報告書) 令和2年度

1 相談

○相談件数 (単位:件)	時間内	時間外
①来 所	137	1
②電 話	2,838	48
③訪 問	750	2
④その他	67	2
合 計	3,792	53

※その他とは、電子メール・FAX等の場合。

○相談者の区分	(単位:件)
①本 人	1,313
②家族・親族	1,125
③介護支援専門員	423
④介護サービス事業所職員	878
⑤行政関係者	233
⑥関係機関	368
⑦民生委員	55
⑧近隣・知人	38
合 計	4,433

※複数可

○相談内容	(単位:件)
①介護相談	206
②介護保険サービス	2,494
③介護保険の地域支援事業	90
④保健・医療・福祉	577
⑤権利擁護	36
⑥安否確認	19
⑦生活面	389
⑧家族	29
⑨金銭面	36
⑩住居	22
⑪近所・地域	3
⑫その他	41
合 計	3,942

※複数可

○利用者基本情報作成件数(単位:件)

作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

○介護予防事業支援表作成件数(単位:件)

介護予防サービス計画費作成件数
0

※利用者基本情報を提出すること

(単位:件)

介護予防ケアマネジメント費作成件数	
A-要支援 1	192
A-要支援 2	357
A-事業対象者	121
C-要支援 1	0
C-要支援 2	0
C-事業対象者	0

2 権利擁護業務

○相談件数 (単位:件)		新規	継続
成年後見制度(再掲)		3	1
消費者被害(再掲)		3	0
困難事例(再掲)		11	9
虐待対応	①相談件数(再掲)	2	2
	②訪問件数(再掲)	0	1
	③立入につなげた件数	0	0
	④やむを得ない措置での入所及び養護老人ホームでの入所に至った件数	0	0

○内容(虐待) (単位:件)

虐 待	身体的虐待	3
	経済的虐待	0
	心理的虐待	1
	性的虐待	0
	介護放棄	0
合 計		4

※複数可

3 ネットワーク構築(包括主催)

(単位:回)

①地域連携に係る会議	0	
②多職種連携に係る会議	4	
③ケアマネ支援に係る研修等	2	
④担当者会議	0	
⑤出前講座実施	4	
⑥一般介護予防事業(びんしやんクラブ)	0	
⑦地域介護予防活動支援事業	16	⑧自主グループ
⑧自主グループ	164	9
⑨訪問型介護予防事業	0	
⑩オレンジカフェ運営	1	
⑪その他	3	
合 計	194	

※①～⑤⑪は「活動報告書」

⑥⑦は「地域介護予防活動実勢報告」

⑧⑨⑩は各種報告書を添付する

5 広報活動等

(単位:回数・延人数)

①センターの広報	1	30
②権利擁護に係る広報	0	0
③交通安全アドバイス	2	80
④介護予防の普及・啓発	4	170
⑤その他	3	69
合 計	10	349

※活動報告書を添付すること。

4 会議等への参加

(単位:回)

①介護保険サービス担当者会議	0
②地域関係者主催の会議	0
③市主催地域ケア会議	12
④地域密着型運営推進会議	3
⑤権利擁護に係る会議	6
⑥介護予防事業関係	21
⑦その他	44
合 計	86

※活動報告書を添付すること。

16.あんしんセーフティネット事業報告

令和2年度は、コロナウィルス感染症の影響で、事業が実施できませんでした。

17. 地域密着型特別養護老人ホーム マザーアースサテライト建設経過報告

- ・平成 30 年 7 月 ふじみ野市「第 7 期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の策定を受けて、法人内に地域密着型特別養護老人ホーム検討プロジェクトチームを設置。
- ・平成 31 年 3 月 ハイブリット工法による基本設計作成、ふじみ野市関係各課、埼玉県西部福祉事務所等へ事前調査。
- ・令和元年 7 月 ふじみ野市地域密着型サービス事業者公募要項配布
- ・令和元年 8・10 月 建設予定地近隣住宅への説明会 3 回開催
- ・令和元年 9 月 10 日 ふじみ野市地域密着型サービス事業者公募に応募、申請書類提出。
- ・令和元年 9 月 12 日 埼玉県西部福祉事務所審査会
- ・令和元年 10 月 16 日 ふじみ野市地域密着型サービス事業者選定委員会（ヒヤリング審査）
- ・令和元年 10 月 28 日 ふじみ野市高畠 博市長より地域密着型サービス事業者公募選定結果（決定）の通知拝受。
- ・令和元年 12 月 19 日 埼玉県西部福祉事務所事前審査会通過
- ・令和元年 12 月 19 日 指名型プロポーザル方式によるプレゼンテーションを開催し、設計監理業務を有限会社スタジオ 4 設計に決定。
- ・令和 2 年 1 月 実施設計着手
- ・令和 2 年 2・3 月 開発・建築確認申請
- ・令和 2 年 4 月 農転申請
- ・令和 2 年 5 月 22 日 建築に関する一般競争入札公告
- ・令和 2 年 7 月 6 日 3 社による入札実施、施工業者決定。
- ・令和 2 年 7 月 15 日 地鎮祭
- ・令和 2 年 8 月 17 日 建設工事着手
- ・令和 2 年 11 月 2 日 備品購入に関する一般競争入札公告
- ・令和 2 年 11 月 27 日 備品購入に関する一般競争入札実施、業者決定。
- ・令和 3 年 3 月 16~19 日 下水道、福祉のまちづくり条例、開発、建築完了検査。
- ・令和 3 年 3 月 25 日 マザーアースサテライト完成引渡し、竣工祈願祭。
- ・令和 3 年 3 月 29 日 埼玉県西部福祉事務所検査
- ・令和 3 年 3 月 30 日 マザーアースサテライト開所式典
- ・令和 3 年 3 月 31 日 利用者入所